

一年生の興味と 関心について

柳原小学校 小野塚昌子

私は、3年前に1年生を受け持ち、又今年1年生を受持つてみて、3年前の1年生と現在の1年生を比較してみた時、時代の流れと共に子供達の考えも変つてきていることに気づき、3年前調査始めて、途中でやめてしまったことを、今度はまとめてみようと思ひつた。最近の社会と、学校から要望されて、時間を特設されようとしている道徳教育のことなどを考え合せて、子供の実はどうであるかをまとめてみたのである。

これらを基にして、今後児童の人格育成のために努力したいと思います。

調査項目

1. 将来の希望(職業)

昭和29年度の1年生と、現在の1年生の5月と1月調査の比較

2. 尊敬する人物

家族の中で誰れが1番好きか

交友関係(仲良く遊ぶ友1人) 5月と1月調査の比較

尊敬する友人(1人だけ、1月と比較)

3. 好き嫌いの教科

どんな本が好きか

好きな花

好きな季節

好きな色

好きな果物

好きな給食

室内外の好きな遊び

日と方法

昭和32年5月 第1回

(将来の職業、交友関係、尊敬する級友)以上項目を、面接により調査

昭和33年1月 第2回

質問紙法により調査

調査対象

一年生の興味と 関心について

柳原小学校 小野塚昌子

私は、3年前に1年生を受け持ち、又今年1年生を受持つてみて、3年前の1年生と現在の1年生を比較してみた時、時代の流れと共に子供達の考えも変つてきていることに気づき、3年前調査を始めて、途中でやめてしまったことを、今度はまとめてみようと思ひつた。最近の社会と、社会から要望されて、時間を特設されようとしている道徳教育のことなどを考え合せて、子供の興味はどのようであるかをまとめてみたのである。

これらを基にして、今後児童の人格育成のために努力したいと思います。

調査項目

1. 将来の希望(職業)

昭和29年度の1年生と、現在の1年生の5月と1月調査の比較

2. 尊敬する人物

3. 家族の中で誰れが1番好きか

4. 交友関係(仲良く遊ぶ友1人) 5月と1月調査の比較

5. 尊敬する友人(1人だけ、1月と比較)

6. 好き嫌いの教科

7. どんな本が好きか

8. 好きな花

9. 好きな季節

10. 好きな色

11. 好きな果物

12. 好きな給食

13. 室内外の好きな遊び

日と方法

昭和32年5月 第1回

(将来の職業、交友関係、尊敬する級友)以上項目を、面接により調査

昭和33年1月 第2回

質問紙法により調査

対象

受持学級 1年2組

男 25名 (1学期は26名)

女 31名 計57名

第1回 休み 3名

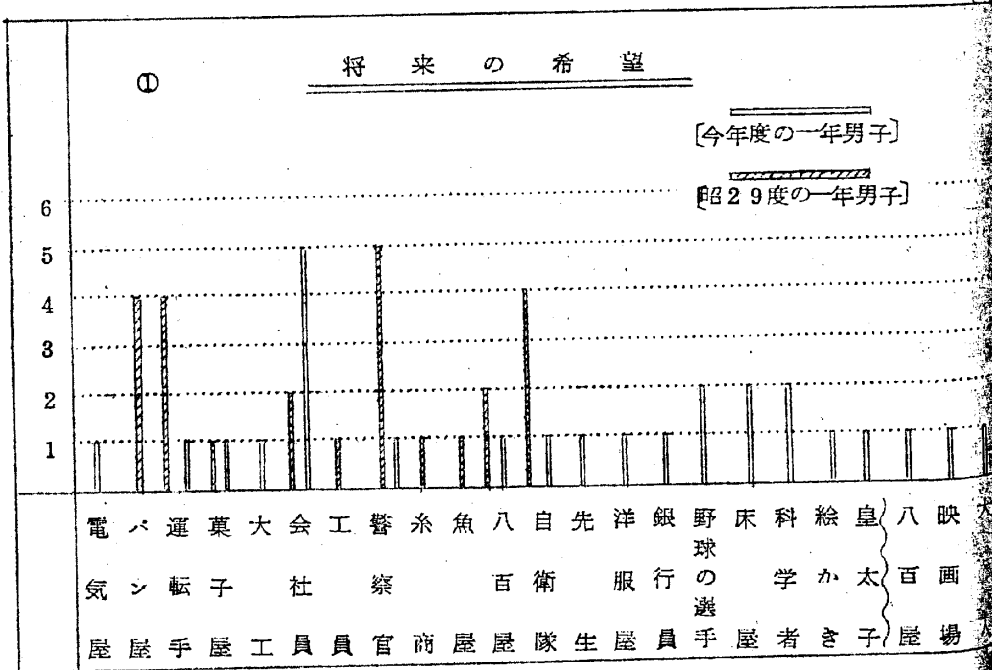
第2回 項目によって、不明な解答がある

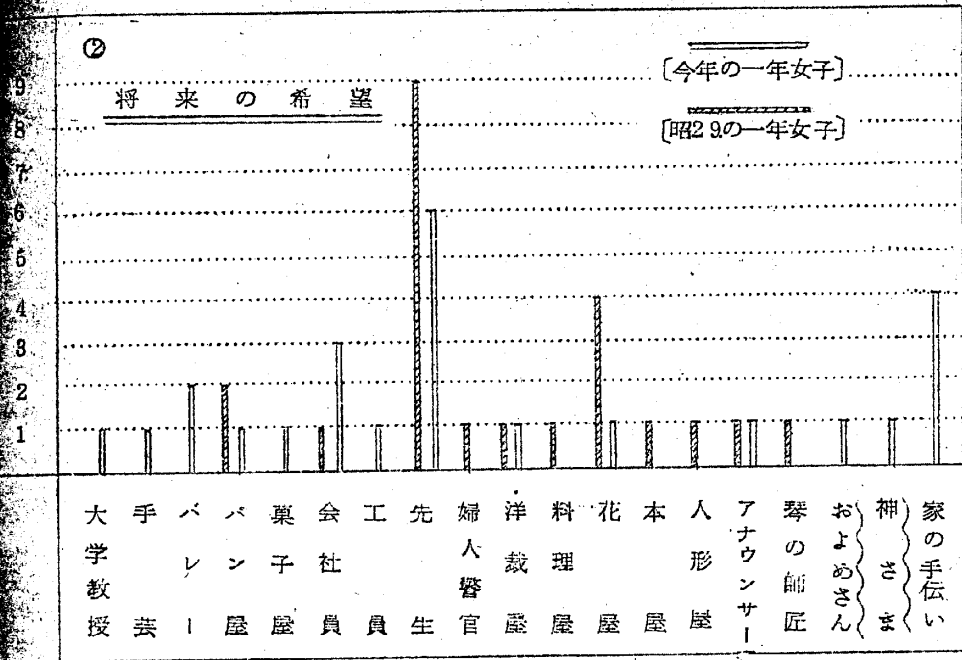
調査内容の整理と検討

1. 将来の職業希望

男子の方は、8年前のトップを占める警察官、これは家の職業が警察官であつたのが、多かつたので、そんな影響ではないかと思われる。第2番目の自衛隊であるが、予備隊と呼ばれた頃で多くの志願者があつた頃で、昔の兵隊と同じように勇ましい態度に憧れる男の子の心理である。現在の1年は、唯1人の希望者だけで、余り好まれていない。この様なところに、時代の流れがよく理解出来る。

今年の1年生は、会社員を圧倒的に希望している、足利は昔から織り物で有名な土地であるが時代の進歩と共に個人経営では、なかなか成り立たない苦境にあり、会社組織へと移行して、大会社の1員として働いた方が、定定している。官庁の公務員と解釈している児童もあるようだ。織り物関係の職業を希望しないそんなところに、地域社会の実感が把握出来る、特記すべき科学者志望の2人である。人工衛星、原子応用とすばらしい発明発見に幼いながらも大きな夢を描き、力する姿こそ尊いと信ずる。





この場合は、先生が両方とも多く1番身近な経験より出たのであろう、深い関心を持っていると解る。3年前の女子の方が、夢があつたように思える。今年の方は、現実的な職業に集まつて、就職難時代の反映であろうか、美しいきれいな職業は女子に合つている、それらに集中して5月調査と比べてみると、同一職業だつた者は、男八名、女六名で、成長するにつれ、見方変わるの当然である。家の後継ぎを希望する者が25パーセントあつたのが、1月では19パーセントに減つている。――の線を引いておいたが、皇太子、およめさん、大人、生き神様と、5月調査には、お母さん、芸者、と幼稚な考えから強い憧れを持っている。

個性に合った職業を選ぶために、広い視野を持つように指導して行かねばならない。

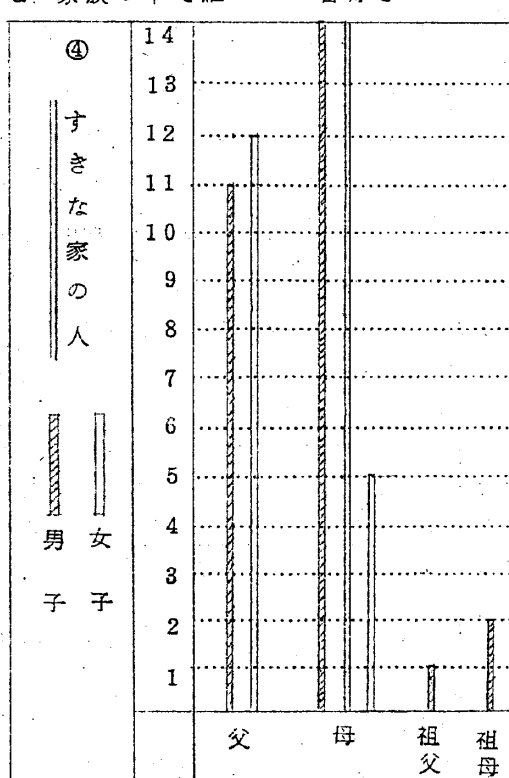
尊敬する人物

番号	尊敬する人	男	女	8	キ	リ	ス	ト	1
1	総理大臣	⑥	4	9	校			長	2
2	天皇陛下	⑨	⑩	10	母				1
3	野口英世	1	2	11	人			間	1
4	級友	2	⑨	12	か			みさま	1
5	アイゼンハワー	1		13	ア			メリカ	1
6	二宮金次郎		1	14	警			官	1
7	先生		4	15	と			のさま	1

1年生として、社会事情がどの程度理解されておるか疑問を持つていたところ、非常に差がある事には驚いた。外国でも日本でも、今の人でも昔の人でもとの質問に当惑した児童もあつたとも考えられる。表でもあるように、日本国の象徴としての天皇陛下を4分の1の人数が挙げている。私達の生活はかけ離れた生活に、一年生なりの純粋な考えから出たものと察する。高学年になるとどんな変化を示すか、興味のある点である。次に女子の最高は級友になつている。級で尊敬される人物が出たが、女の子は社会に対しての関心が薄いことを物語っている。

汚職、貧乏、暴力と三悪追放のスローガンのもとに、国民幸福のために努力している岸総理を2番目に挙げている。諸外国との交際に映画に新聞にラジオに、おぼろげながらも、えらいと感じるのであろう。社会知識の豊かな者が天皇陛下、岸総理を書いている。今は亡き野口博世、二宮金次郎イエスキリストを挙げた起因は、本にあると思われる。それぞれに立派な行いを感心したのであろう。突込んで考えると、偉業にも問題はあつたが、良書の選択能力の養成が如何に大切であるかがわかる。例外の萬物の霊長の人間、新興宗教の総てを神様依存する、アメリカを人物と間違える、こうした、違つた生活環境から密接した人物が出されている。実存の人物に多数集中している。直接環境の重要性が感じられる。もう少し夢があつてもよいのではないかと思つた。

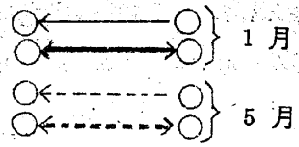
3. 家族の中で誰れが一番好きか



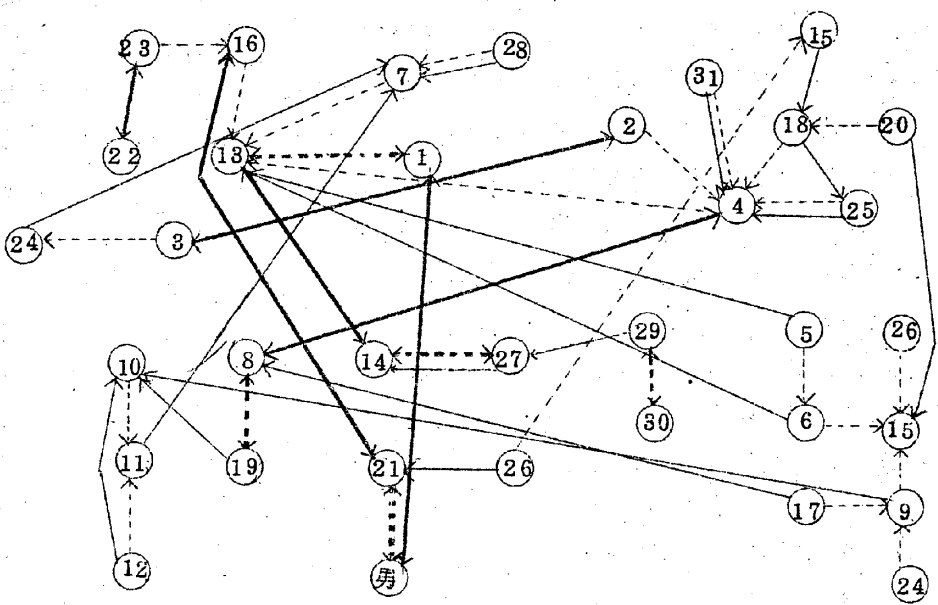
母を女子は62パーセント、男子は58パーセントの割合で、好んでいる。母胎を離れてから、暖い乳房に懐しい甘さを感じ、愛の力で結ばれ、やさしい思いやりのある母親に集まるのは当然ではないだろうか。父親は、家庭に居る時間も少く表面的な結びつきが多いように思えるが幼少時代は尊敬の念よりも叱られるとか何でも買つて呉れるからと、切り切つた見方をしている。

祖父母が3名書かれていたが、父兄会等に祖父母と意見が合わず困りますと申される。男の子よりも孫の方が可愛くなると云われているように、盲目的な愛に近いのではないだろうか。人間形成の基礎となる大切な要素を持つ家庭の中の重要人物としての親、特に母親は子供に与える影響を充分考慮して努力して欲しいと望む次第である。兄弟姉妹は全然挙げられていない。

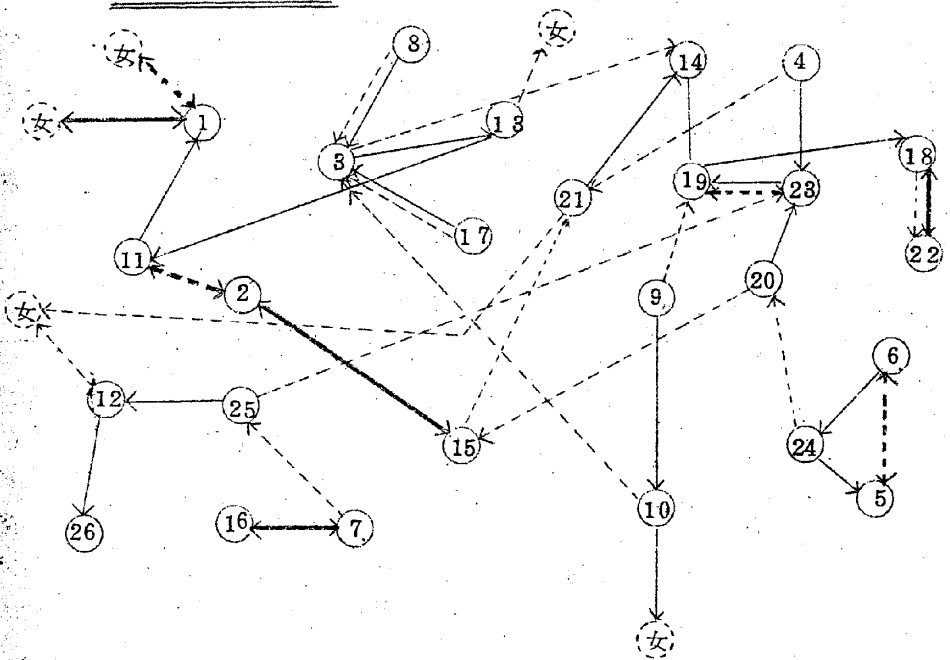
交友關係



交友關係 [女子]



交友關係 [男子]



男子の方で5月調査と1月調査を比較して見ると、相互に交っている者は前者が4組後者が5組
なっていて変わらないのが1組だけである。③と②を中心として5つのグループに別れている。
女子の方は5月と1月の調査で変わらない者が8名だけで他は全部動いている。入学当初とは違
は当然の事である。1月の方で見ると、3つの大きなグループに6つの小グループがある。⑬⑭の
童に注意して指導したい。

中心となつている児童は明朗活達で親切な気のやさしい児童である。男は女を、女は男を友とし
交っているのが、あつたのも、男女の意識がはつきりしていないからだろう。ちよつとした事な
でけんかをし、又すぐ仲良くなる。友人との交際は非常に浅く、仲良くなつたり離れたりしてい
やはり同性の友人を好み、同じような家庭同じような性質、近所、隣席そうした友人を求めている
指導の要点として孤立児童をなくするように努力指導する。組全体が連鎖関係になるように注意
る。男女の仲を今より以上に仲良くさせる。

5 尊敬する友人

5月調査では、男の方からは⑬と⑭と①に集まつていたのが、第2回では、⑭と①と②
と、大きな動きを示した。⑬児は成績良いのだが、行動面が良くないので、人望がなくなつて
まつた。それに対して、⑥児が進出して来た神経質で几張面な性格成績も良く常に賞められて
るので友からの信用がある。

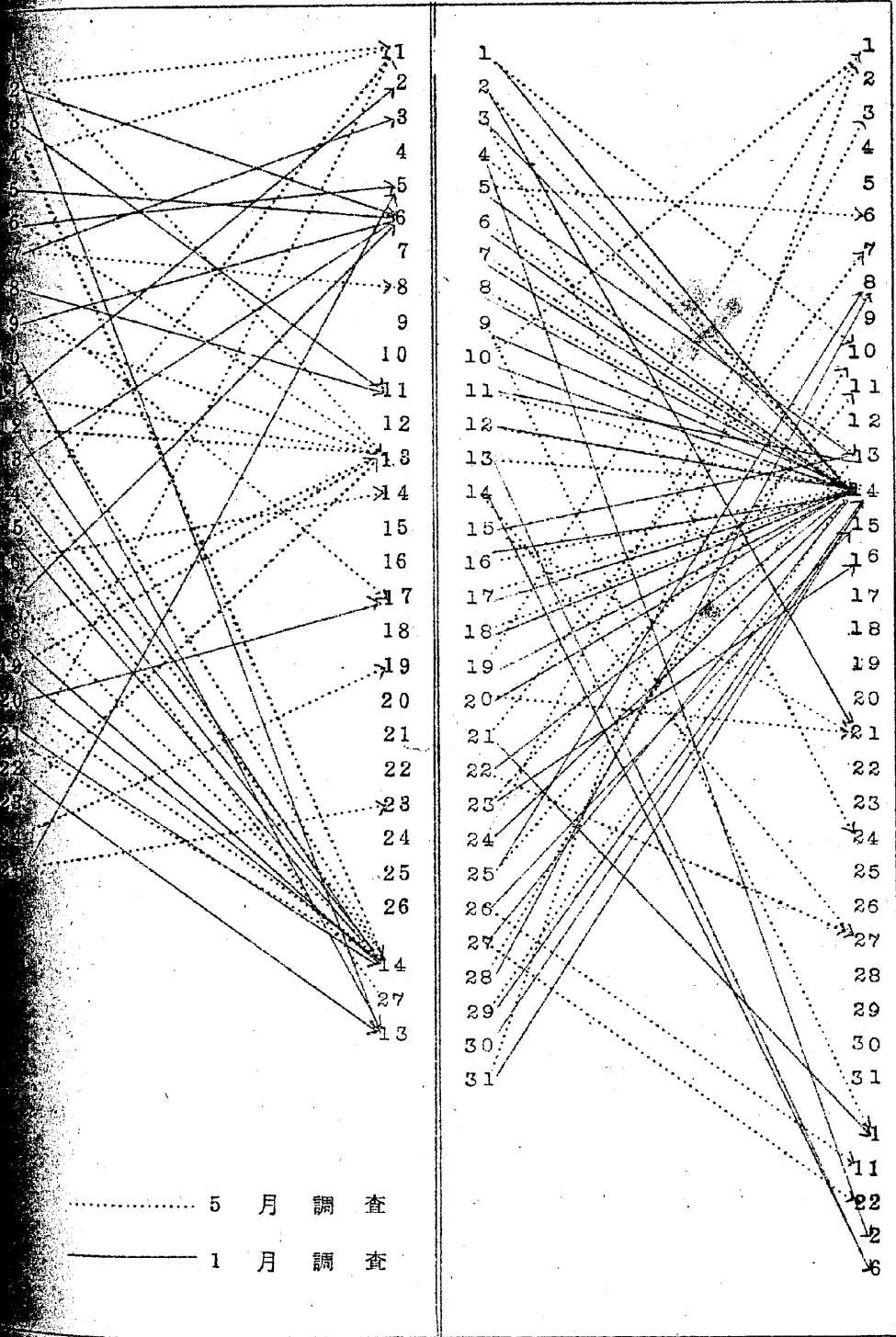
女の方は、大半が⑭と⑬に集つている。

男女共に筆頭に上げられている⑭児は成績抜群で知能が高く、反面性格が強く排他的行為が見
れだらしのない面もある。交友関係では、近所の⑳とだけ交っている。リーダーとして、円満な
格を持てるように家庭との連絡を密にして見守つてゆきたい。

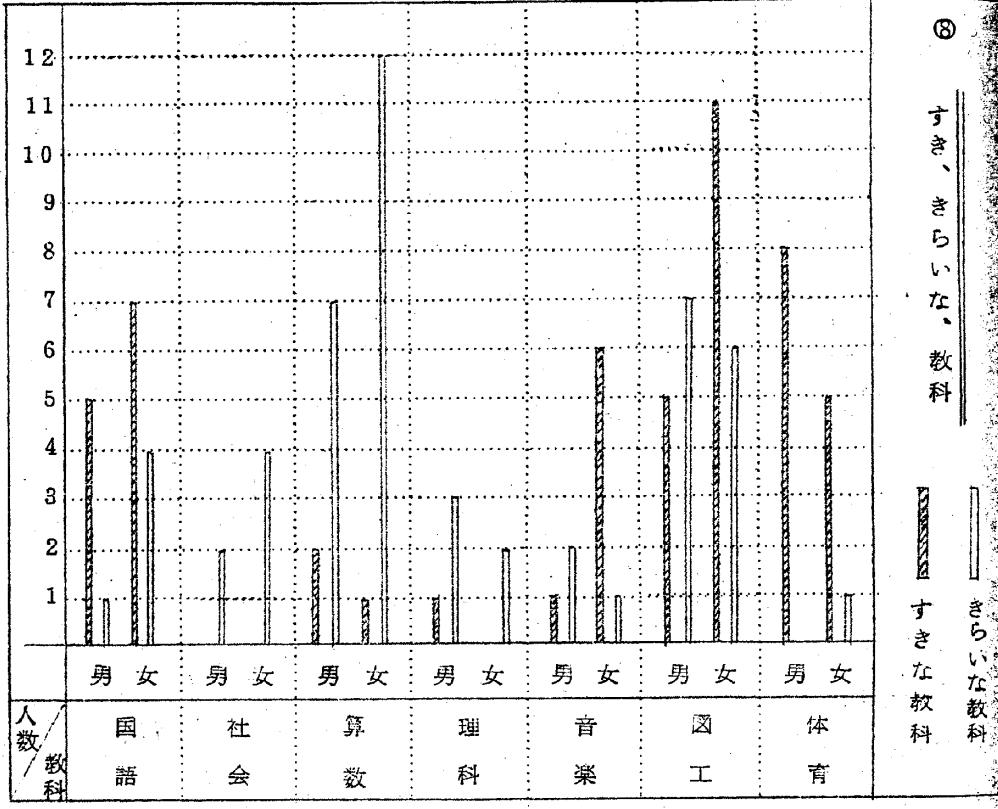
次に⑬も男女から好がれている。やさしい性質で明かるく誰れとでも仲良しになり成績も良い
私から見ると⑬の方が子供らしくて良い子だと思えるが、子供達にとっては、学業成績に1番
点を置いて評価していた。

尊敬されない児童には、劣等感を抱かせないようにされた児童は、天狗にならないように、平等
指導したい。

① 尊敬する友人



6 好き嫌いの教科



総合的に見て一番喜ばれているのは、図工で、絵を画いたり、工作する事により自分の思ったように創作し早急に完成され自己満足の最も身近な教科だけに楽しんでいる。特に女の子は、求められない夢を1枚の紙に表現している。

男子の体育は云うまでもなく余りある元気を存分に発揮出来る得意中のものである。身体的な陥陥を持つ者以外は全員参加し可能な教材が多く、もつと好んでも良いように思えた。

社会理科は好まれてもいないがあまり嫌われてもいない、興味のない学習指導をしている私に反響を求めているようである。図工に嫌いの児童の多いのにも劣等感を持たせないような指導工夫がなされなければならない。組の実態として、国語の成績は良くそれに反して算数の方は良くなかった。グラフに表われているように、算数の嫌が多いのにはびつくりした。原因を追求して検討しなければならないが、問題解決学習として、一番興味を持っている教科だろうと信じていた。の不行届を物語っている。

7 どんな本が好きか

本が非常に好きで、図書館の時間が抜けると大変な文句が出る。殆ど絵本を見ている。

⑨ 読んだ本で好きな本

番号	本名	男	女	番号	本名	男	女
1	まんじゆのひめ	0	2	16	かちかち山	0	1
2	しらゆきひめ	0	⑤	17	ももたろう	2	0
3	おや指ひめ	0	3	18	おきなおはん	1	0
4	かなりや	0	1	19	かきとりごんべえ	2	0
5	じやつくと豆の木	0	1	20	のぐちひでよ	2	0
6	きんのりんご	0	2	21	ひよしまる	1	0
7	二宮金次郎	③	1	22	汽 車	2	0
8	は な	0	1	23	みつばちの王さま	1	0
9	しんでれらひめ	0	3	24	少年けにや	1	0
10	一寸法師	2	3	25	さるかにかつせん	1	0
11	かぐやひめ	0	2	26	とらの本	1	0
12	おちやめさん	0	1	27	5しわかまる	1	0
13	イエスさま	0	1	28	ぞう物の本	1	0
14	ビノキオ	0	1	29	ガリバー旅行記	1	0
15	にこにこ電車	0	1	30	小ぐまと花	1	0

冊の本しか書かせなかつたので、はつきりしたデータは出ないが大よその見当はつく。

女児の読書傾向はやはりおひめさまや、おとぎの国の美しい悲しいそしてハッピーエンドの童話を好んでいる。男児は偉人伝、童話、科学的な読みものを好んでいる。もう少したつと、冒険物に集まるのだから。優秀な学校図書館を利用して道徳教育も出来る。今後それに関連した調査等もやってみたいと考えている。

⑩ 好きな花

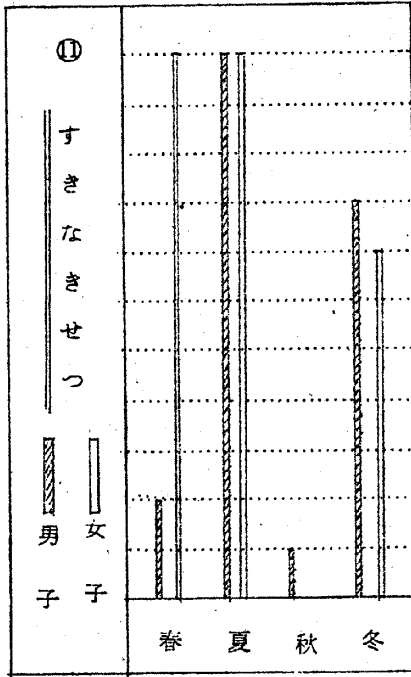
⑩ すきな花

番号	花	男	女
1	りんどう	1	2
2	つばき	0	2
3	ばら	1	⑤
4	ちゅうりつぶ	④	3
5	さくら	⑧	⑦
6	うめ	2	⑥
7	もも	1	1
8	カーネーション	0	1
9	ゆり	0	1
10	すいせん	③	1
11	だりや	0	1
12	こすもす	1	0
13	さるびあ	1	0
14	すみれ	1	0

男女共に日本の代表的なさくらの花を好んでいる。国をあげての花祭り、お花見と、小さき花の集りが、花のトンネルを作りその美しい1幅の絵には感嘆せざるを得ないだろう。2番目の梅も寒さの中に強く咲き誇る姿勾いと低学年のうめの花丸親しみ易い花だろう。ばらは情熱の花 複雑な構造 女子は暖色系の花を好んでいる。男子のチューリップには、以外に感じられた。が、すつきりとした形で、黄赤白の花と緑の大きな部厚い葉にひきつけられる何物かが存在するのだから。一般に単純な系統の花を好む。

1月調査なので冬以外の花が余り上つていないので、理科の最後のしめくりでも51度調査出来る。その結果を比較して見よう。

9. 好きな季節



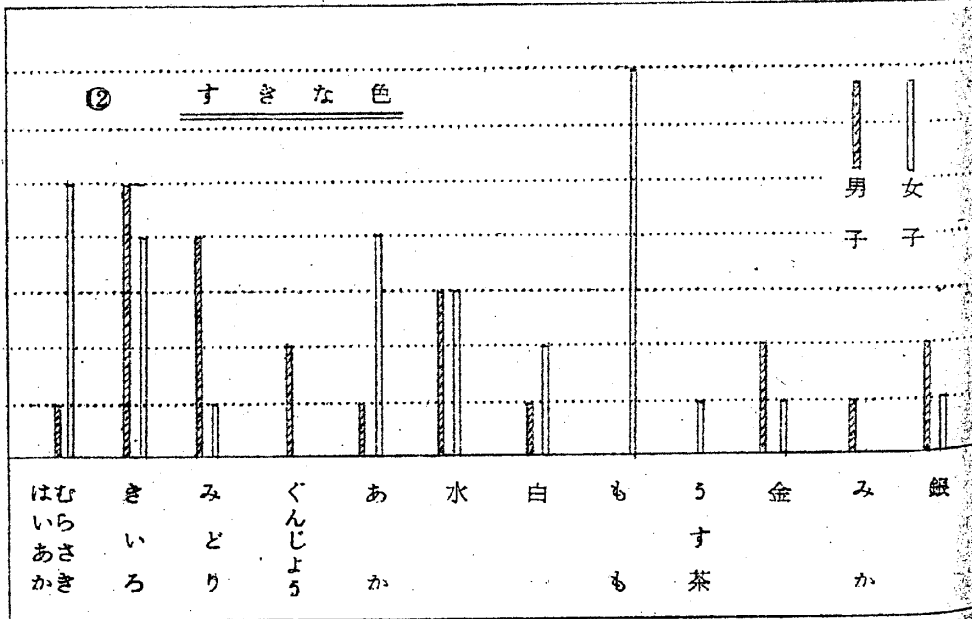
夏冬春秋の順に好まれている。各それぞれ季節の徴があつて、違つた味を持つている。

男子は夏を1番に冬を2番となつている。夏は海山に、冬は雪に僅がれお正月暖をとる種々の遊び活動的な遊びの豊富な季節が好まれている。秋のさは、まだ理解出来ないのが当然なのに、1人の望者があつたのは以外だつた。

女子は夏春同数で夏は男と同じように、春は進級喜び、草木の芽を出す、暖い春を好むのは、女性としての本能ではないだろうか。

理科教育の重要さもこうした点で、考えなければならぬものがひそんでいる。

10. 好きな色



みどり、くんじょう、水色と、青系の寒色で、落ち着きのある、すつきりした色を好んで

もも、はいあかむらさき、あかと、暖色系の派手な明かるい色を好んでいる。

は、男女共に好んでいるのは、中間色として、はつきりした色をしているからだろう。

の華かな色を好む者は強い憧れ夢を持っているのである。

に於いては、男女の服装持ち物の色彩の区別は、はつきりなされて、根強くしみ込んでいるの片寄つているとも考えられる。しかしこれからは、男女に拘泥せずに、最も好きな色が選べるな色彩教育が、必要だと思われる。でも未熟な1年生だけに成人するまでには、大いに変動することだろう。

1. 好きな果物

⑬	番号	くだもの	男	女
			す	2
き	2	⑤	⑧	
な	3	⑥	⑦	
く	4	⑤	⑥	
だ	5	0	1	
も	6	0	1	
の	7	0	1	
	8	1	0	
	9	1	0	
	10	1	0	

ばなな、りんご、みかんと男女共にはほぼ同数が好んでいる。ばななは普通の家庭では、なかなか与えられないのではないだろうか。安価であつたらもつと多くの好きな子も出てくる事と思う。

りんご、みかんは安直に手に入るし、味も1番親しまれりんごは1年を通じて殆ど食べられるので、好まれる原因であると思う。

すいかも、夏の果実として独特の味である。

メロンは、高級すぎて大衆向きではない。嫌

の調査はしなかつたが、ビタミンの多く含まれている果物をなんでも食べられるようにしたい。

正しい節約も、無駄遣いも、こうした物を購入するように指導を要す。

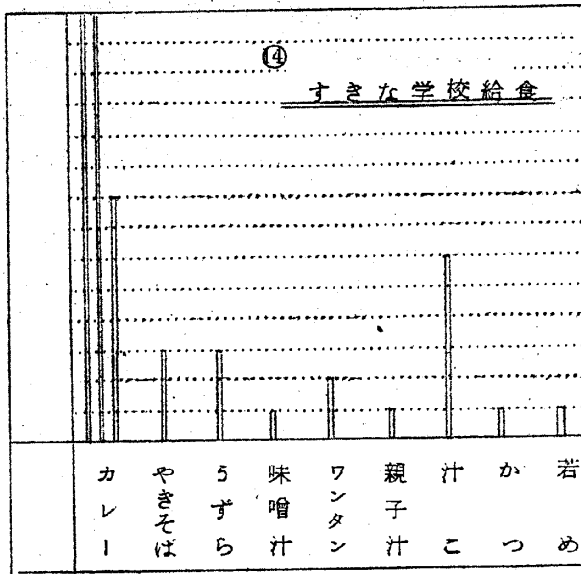
2. すきな給食

日置きの楽しい給食、毎月のおかずは大体繰り返してであるが、季節によつての特別の献立をするものもある。

汁が 36 名の大人数が書いている。第1の御馳走になるわけである。家庭でも簡単に料理出来る。日本人の嗜好に合っているのだから。パンとカレーのからさと、塩の味と、ミルクの甘いのが一番食べ良いからだ。

することずらのように甘い物も大分好かれている。やきそばは、もつと好かれると思つていた

大勢のが冷えて重なつて市販のように味は良くない。



汁物はさつぱり駄目で、家庭での
がまゝが出てくるのである。1年
初は大分残りが多かつたが、現在
は2・3名の者だけで、きれいに
食べる。給食の意義をよく把握させて
健康保持増進のために、栄養指導
徹底したい希望を持っている。

13 室内外の好きな遊び

⑩

番号	遊 び		男	女
	1	ま	ま	0
2	本	読	⑤	④
3	か	る	2	5
4	お	人	0	2
5	ぬ	り	0	2
6	つ	み	⑤	0
7	び	あ	0	1
8	し	よ	④	0
9	絵	を	3	0
10	だ	い	1	0
11	お	も	3	0
12	べ	ん	5	0

⑪

番号	遊 び		男	女
	1	し	や	0
2	け	ん	1	⑩
3	石	け	1	4
4	ふ	ら	1	1
5	か	げ	0	1
6	な	わ	0	4
7	ゆ	き	0	1
8	か	く	⑤	8
9	ま	ま	0	⑦
10	つ	か	⑦	0
11	す	べ	2	0
12	た	ま	2	0
13	か	け	1	0
14	く	つ	1	0
15	野	球	1	0

男子は、動きの大きな遊びを好んでいる。室外、女子は勝負のある静的な小規模の遊びを好んで
る。男女共に7、8人の団体遊びを行つている。

男子にある「くつかくし」の遊びは注意した。

室内の遊びは、女子では本読みに熱中し、かるた、ままごとと消極的な小人数の遊びを好んで
非常に本が好きである。

が、本読みの児童は、興味のある者だけで、積み木、しよぎ、おもちゃ遊びと、身体に訴えるもので、創造的な、科学的な、思考力をねる遊びに興味を持っている。女子は単純で模倣遊びに、男子は、複雑な推理力を働かせる遊びを好んでいる。男女の特徴がはっきり現われている。遊び悪い遊びの判断もまだよく理解出来ない段階で、何事も経験を通して、良い方向へ進むよう指導の要点を置きたい。

実践記録でなく、唯単なる実態調査だけであつて、まとまりのないものが出来上つてしまつた。

私としては1年生として、男として、女としての興味と関心についての傾向が、理解出来た。精神の発達が著しいとか、非常に活動的であるとか、自己中心的であるとか、好奇心の発達等は、個別的である。これらの特性に立脚してそれらを生かして行かねばならない。しかも児童は、各々持つ素質をもつて、さまざまな家庭環境に育つている。その特殊を理解しなければならない。

教育経営の基礎としての実態調査、又、個々人の興味は何であるか、どういう方面に関心を持つてゐるか、注意深く見守ることが必要となるわけである。

興味は生まれつきのものの上に、第2の生活環境、第3には、個人の持つ経験によつて、次第に形をなれていくいろいろの経験を与えながら、のぞましい方向に児童1人1人を育てていきたい。